

この街（多摩川住宅）をどのように活性化したらよいか？

多摩川住宅【街づくり（地区計画）協議会】が発足

商業地であり、私鉄の最寄り駅である《国領》駅と公共交通機関、バスで結び、有機的なつながりのある街づくりが出来ないか。

今、住宅に設置されているさまざまな社会資源（小・中学校や幼稚園、保育園、郵便局、銀行、スーパー、商店、交番、野球場、テニスコート、ゲートボール場）の他に、高齢化が著しい多摩川住宅に必要な高齢者関係施設や医療関係などを、どのように取込んでいったらよいか。

【多摩川住宅】という街全体の活性化と機能的な配置などを展望して、リニューアルを目指せないか。

など、調布市が提唱している《街づくり（地区計画）》に住民の側から呼応するものとして、ここに多摩川住宅【街づくり（地区計画）協議会】が設置されました。

メンバーは、ハ・ニ・ホ・トの管理組合とイ・ロ・ソシア多摩川の大家である東京都住宅供給公社の5者です。

第1回目の協議会は、4月19日に開催され、いよいよ【多摩川住宅】という街の、根本的な活性化を図る場が正式にスタートします。

公社の参加は、住宅の半分を補うものとして当然ですが、調布市からも街づくりの場への参加を呼びかけられていました。

